



2026年1月
品川女子学院図書室発行
253号

今年もいい本との出会いが
たくさんウマれますように



2026年スタート！新春！図書みくじ☆

新しい年が始まりました。冬休みはどのように過ごしましたか？

初企画！<図書みくじ>をご用意しました。

引いた番号をカウンターでお知らせください。

その番号の【特製しおり】をお渡しします！1日1回までです！



ヒビン！ウマ展示

2026年は午年（うまどし）です！

馬が出てくる小説、馬術に関する本、干支の本、名前に「馬」が入っている作家さんの本など、図書室にある、ありとあらゆる「馬」を集めました。「この本のどこに馬が……？」と探しながらパラパラ眺めるのも楽しいと思います！



図書室入ってすぐのタネ展示だよ



直木賞候補作

昨年の12月11日に直木賞の候補作が発表されました！

図書室には全作品が揃っています！気になる方はぜひ借りてください。

- [913/シ]『カフェーの帰り道』嶋津輝:著/東京創元社
- [913/ス]『白鷺立つ』住田祐:著/文藝春秋
- [913/タ]『神都の証人』大門剛明:著/講談社
- [913/ハ]『家族』葉真中顕:著/文藝春秋
- [913/ワ]『女王様の電話番』渡辺優:著/集英社

このマークが目印！
今は新着棚に置いてあります



選考委員会は2026年1月14日（水）都内にて開催。まもなく直木賞の発表！楽しみですね。

図書委員会広報班による本の紹介

[文庫 913/シ]



斜線堂有紀『愛じゃないならこれは何』
集英社文庫刊

『愛じゃないならこれは何』 斜線堂有紀:著/集英社（集英社文庫）

自分のファンの家に忍び込み、ファンの部屋を観察する地下アイドルの赤羽瑠璃。このアイドルとは思えない異質な行動には訳があった……はじめは自分の数少ないファンの投稿をなんとなく眺めるだけだった瑠璃が次第に本名を知り、バイトしているレストランを知り、ついには住所を特定してしまう。自分を「推し」てくれるファンのめるすけに瑠璃は「恋」してしまったのだ。特殊な仕事や立場の人がさまざまな恋をするこの短編集は、キャラクターの思いや気持ちの表現がとても上手で読んでるうちに魅了されました。舞踏会症候群など普段はおもいつかないような造語まで出てきます。芸能人だって普通の人のような感情を持つんだと思っても、その恋はどこか異質で困難が多い。知らないだけで実は存在しているかもしれない恋の物語を見ている気分になれて楽しかったです。ぜひ読んでみてください。

(5D S)

[文庫 913/ナ/1]



風良ゆう『汝、星のごとく』
講談社文庫刊

『汝、星のごとく』 凪良ゆう:著/講談社（講談社文庫）

『汝、星のごとく』は、小さな島で出会った暁海と櫂が、互いに惹かれ合いながらも、家庭の事情や環境に翻弄され、すれ違い続ける年月を描いた物語です。どんなに距離が離れても、決して消えることのない想いを抱え、希望と絶望の間で揺れる姿がとても切なく心に響きます。二人が選ぶそれぞれの人生や、愛の形について深く考えさせられる物語となっており、読み終えた

後も余韻が長く残ります。恋愛だけでなく成長や現実の厳しさも感じられる、感動的な一冊です。
ぜひ読んでみてください！

(3C T)

[文庫 913/シ]



重松清『青い鳥』新潮文庫刊

『青い鳥』 重松清:著/新潮社（新潮文庫）

非常勤教師の村内先生は障害により、よく言葉につっかえてしまう。でも先生が話すのは「本当に大たいせつなこと」だけ。たくさんの生徒に寄り添い「本当にたいせつなこと」を教えてくれるお話。ぜひ読んでみてください！

(2B K)

[学校関連 383]



森伸之『女子高生制服100年図鑑』
小学館刊

『女子高生制服100年図鑑』 めばち:イラスト、森伸之:監修/小学館

品女の魅力っていっぱいありますよね。その中でもこの本は「制服」にフォーカスを当てて、品女だけではなくさまざまな学校の制服を紹介します！！もしかしたら知ってる！と言う学校の制服があるかも！？絵と写真がメインの本なので、文章を読むのが苦手という人でも楽しめる本です！！これを読めば品女の魅力がわかるかも？ぜひ読んでみてください。

(2C T)